

長崎県環境保健研究センター

概 要 紹 介

《運営の理念》

大学、国公立及び民間の研究機関と協調・連携可能な資質を有し、県民生活の質の向上に繋がる精度の高い試験検査並びに国際的視野に立脚した高度な研究活動及び情報提供を行うことにより、環境保全、食の安全・安心、生命や健康の維持に関して県民に信頼・支持される研究所を目指し以下の5つの機能の推進に努めています。

1. 試験・検査機能

1. 豊かで健全な環境の確保を図る；水域、大気、放射能、土壌等環境の保全に関する調査・観測及び試験検査
2. 食の安全・安心の確保を図る；食品衛生対策に係る試験検査
3. 健康被害の予防と衛生水準の確保向上を図る；健康被害対策に係る試験検査（医薬品、家庭用品及びカネミ油症に係る検査等）
4. 感染症の究明・拡大防止を図る；感染源の解明等に関する試験検査

試験検査結果については、迅速かつ的確に業務所管課に提供し、環境・保健衛生行政施策を科学的・技術的側面からの支援に努めます。

2. 調査・研究機能

重点的に取り組む研究は次のとおりです。

【重点目標1：地球環境保全と豊かで健全な環境の確保を目指す】

- ①大気、放射能、土壌等環境の保全に関する研究
- ②地球規模の環境問題に関する研究

【重点目標2：低炭素・循環型地域社会づくりを目指す】

- ①資源の循環的利用の推進に関する研究
- ②化石燃料の代替燃料に関する研究

【重点目標3：閉鎖性水域の環境浄化・水辺環境づくりを目指す】

- ①大村湾及び諫早湾干拓調整池等閉鎖性水域の水環境改善等に関する研究
- ②生態系を活用した水環境の改善手法に関する研究

【重点目標4：安全・安心な生活の確保を目指す】

- ①農・水産物等食品中の農薬、化学物質等の迅速分析法の確立に関する研究
- ②健康被害原因物質（化学物質）の究明に関する研究

- ③農水産特産品に係る品質評価法等に関する研究
- ④食品健康被害原因物質（細菌・ウイルス）の究明等に関する研究

【重点目標5：感染症の究明・拡大防止を図る】

- ①感染源及び病原性の解明等に関する研究
- ②感染症の高感度迅速診断法並びに予防、治療に関する研究

これら環境・保健衛生分野に係る研究成果については、環境・保健衛生に関する課題や健康危機管理に関する課題等の解決に繋がります。

3. 情報収集・解析・発信機能

環境・保健衛生分野の科学技術情報については、収集機能を整備拡充し、研究立案に反映させます。また、研究成果や疫学調査等解析による結果を関係行政部局等に提供することで政策に寄与します。

「環境保健総合情報システム」、「感染症情報センター」、「当センターホームページ」等を通じて、これらの情報を迅速かつ分かりやすく発信または提供します。

4. 教育研修機能

センターは、環境・保健衛生に関する活動意欲の増進を促すための学習活動の支援を行うとともに、環境保全活動の輪をさらに広めるため、環境・保健衛生問題に関する実践活動の拡大に繋がる地域リーダー等の育成支援を行い、地域住民の意識の高揚及び地域での協働参加型による環境・保健衛生問題への対応に反映させます。

また、センターの公開や施設見学等の受け入れなどを積極的に行い、県民に対し、より身近で開かれた機関として対応します。

海外からの研修生等の受け入れ等により技術的な交流等を通じて国際貢献に寄与することに努めます。

5. 企画調整機能

以上の機能を拡充させ、円滑に遂行するため、各機能間の総合的調整やセンター内外との連携調整を行うための体制を維持し、各機能での効率的、効果的活動に繋がっています。

